

適用例(課題とソリューション)

ユースケース

1 クラウド利用状況とリスクを 見える化したい

課題

- 何がどのように使われているのか把握できていない
- 部署やユーザーごとに勝手なアプリを使いだして企業向けの品質でないものも多い
- 類似アプリの利用による無駄なコストがかかっている

ソリューション

- クラウドアプリ、ユーザー、挙動の詳細情報を自動ディスカバリー
- 類似アプリの発見と集約によるコスト最適化
- クラウドアプリのリスク評価指標を提供



ユースケース

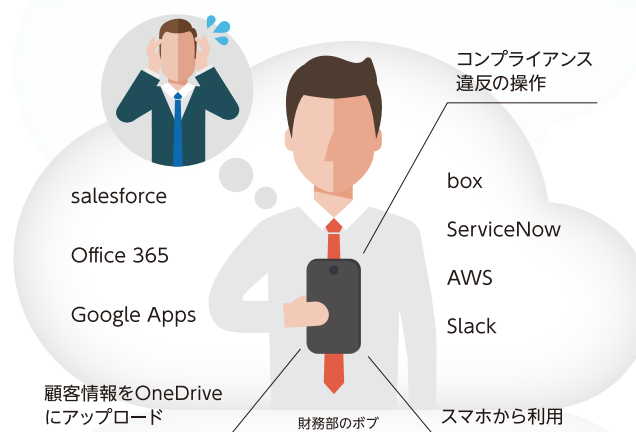
2 アプリ限定で安全に クラウドを利用したい

課題

- 許可アプリへの問題操作を可視化できていない
- ユーザーや管理者の権限制御ができていない
- 機密情報漏えいの恐れがある

ソリューション

- アクセス、挙動、データに対するポリシー適用
- 詳細な可視化とコントロール
- データとアプリへの通信を監視して保護



ユースケース

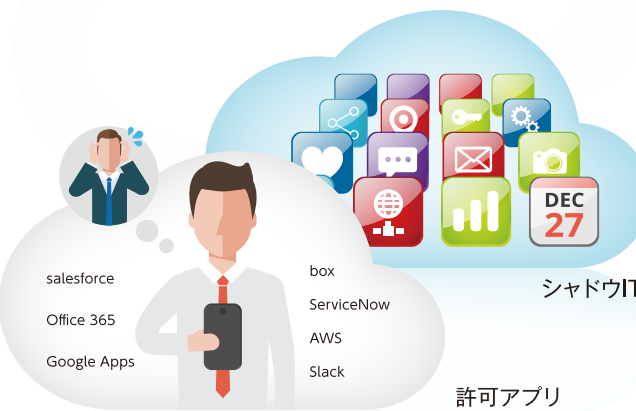
3 想定外のクラウド利用にも セキュリティ対策したい

課題

- シャドウITの利用状況とリスクが把握できていない
- アプリ連携によってシャドウITが許可アプリに接続されてしまう
- コンプライアンス違反操作と情報漏えいのリスクがある

ソリューション

- シャドウITを含む全アプリのディスカバリー
- モバイルアプリを含む全クラウドアプリの可視化とコントロール
- 機密情報漏えいを防止する強力な最先端DLP機能



※会社名及び商品名は、それぞれ会社の商標あるいは登録商標です。

東京エレクトロン デバイス株式会社

CNカンパニー
<http://cn.teldevice.co.jp>
 新宿：〒163-1034 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー S34階
 Tel.03-5908-1964 Fax.03-5908-1992
 大阪：〒540-6033 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー 33階
 Tel.06-4792-1908 Fax.06-6945-8581
 名古屋：〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2-27-8 名古屋プライムセントラルタワー 8階
 Tel.052-562-0826 Fax.052-561-5382
 豊田：〒471-0027 愛知県豊田市喜多町1-140 GAZAビル 4階
 Tel.0565-30-1010 Fax.0565-30-1030
 つくば：〒305-0033 茨城県つくば市東新井15-4 関友つくばビル 7階
 Tel.029-848-6030 Fax.029-848-6035
 お問い合わせは、Webサイトの下記フォームよりお願いします。
<http://cn.teldevice.co.jp/product/netskope/form.html>

UNIDEX

ユニアダテックス株式会社
 ビジネスソリューション企画部 セキュリティ課
 〒135-8560 東京都江東区豊洲 1-1-1
 URL : <http://www.uniadex.co.jp/>

Netskope クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー(CASB)

クラウドの世界をもっと安心、安全に



東京エレクトロン デバイス

『クラウドアプリケーションを 安心・安全に使用するための セキュリティ対策』



CASB
[キヤスビー]
Cloud Access Security Broker

2020年までに大企業の85%
がCASBプラットフォームを
採用する見込みで、現在の5%
未満からの拡大となる。*1

Gartner

ガートナー社は急速な普及を予測する
とともに、推奨事項として以下の点を挙
げています。
「複数クラウドサービスに対する可視性
と制御についてCASBを導入すること
で一元化し、個別管理を避けること。」

*1 Source: Gartner's Market Guide for Cloud
Access Security Brokers, 24 October 2016

大企業の
85%

(免責)
ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するように助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

セキュリティ課題をもたらすクラウド利用

クラウドに分散保存される データの統制が課題に

既に多くの企業でクラウド利用が始
まっており、便利になった環境では、
機密情報の保管や私有機器利用な
どのポリシー遵守が課題です。さら
に許可外の不特定多数アプリケー
ションにおいては、セキュリティ対
象にすらなっていない状態です。



95%のクラウドアプリは管理されていない

一社あたり1031種*2のクラウドアプリを利用しているもののIT部門が把握・管理しているのは数十件にすぎません。
さらに、マルウェアやランサムウェア、ポリシー違反が多く発見されています。*2 (参考:Netskope Cloud Report) 2017年1月時点

リスク
Risk
さらされている

課題を解決できるのはCASB

不特定多数のクラウドアプリ利用
に対するセキュリティ対策は、ファイ
アウォールなど既存の技術では
不十分です。クラウドアプリを識別
して操作内容まで可視化してく
れる把握から、各種脅威に対する
「保護」そして「対処」まで、クラウド
セキュリティの要求に応えるのが
CASBです。



CASBとは

CASBは異種クラウドサービスを利用す
るユーザーや端末に一貫したポリシーと
統制を提供するサービスで、利用内容に
関する詳細な可視化とコントロールを可能
にします。CASBは4種類の機能で構成さ
れます。

<CASBの4機能>

- 検出と可視化
- コンプライアンス
- データセキュリティ
- 脅威に対する防御

“Netskope”のCASBが選ばれる理由

- 1 不特定多数アプリ
対応**
無許可を含めた全ク
ラウドアプリに、詳細
な操作ポリシーを適
用できます。
- 2 オールモード・
アーキテクチャー**
モバイル端末を含む
多様な利用形態に対
応する柔軟な導入オ
プションを提供して
います。
- 3 情報漏えい対策
(DLP)**
誤検知を抑える近接分
析やフィンガープリン
ティングなど高度な情
報漏えい防止機能をシャ
ドウトITにも提供します。
- 4 脅威防御**
クラウドアプリ内に
おけるマルウェアや
ランサムウェアの検
知と対処機能を提供
します。

“Netskope”はすべてを把握・保護・対処

LANだけでなくリモートやモバイルからの利用も含めたすべてのクラウド利用に関して、
クラウドスケールのセキュリティプラットフォームを提供します。

- ・利用中サービスと操作を自動検出して可視化
- ・シャドウトITも一目瞭然
- ・自動分類とリスク分析による採点
- ・挙動と操作内容の判別と記録
- ・詳細なポリシー定義と適用
- ・告知、遮断、推奨サービス転送などのアクション
- ・情報漏えい対策(DLP = Data Loss Prevention)
- ・マルウェア検出
- ・暗号化
- ・ワークフローの自動化
- ・フォレンジックに必要な詳細な監査証跡
- ・詳細なインシデント履歴
- ・豊富な管理者種別とカスタム定義の
役割ベース権限管理



把握
Understand
不特定多数のクラウドアプリ、
操作、データを把握します。



保護
Protect
機密情報を保護して
ネットからの脅威を遮断します。



対処
Respond
インシデントへの迅速かつ
手厚い対応を実現します。



従来ソリューションとの違い

今までもウェブアプリケーションを遮断す
るようなセキュリティソリューションは存在
していました。しかし、クラウドに特化した
Netskopeは、クラウドアプリそれぞれの
リスク情報を把握しており、さらにユー
ザー操作種別やデータ内容まで判別した
うえで詳細にコントロールできます。

